

バスケットボール競技の部(秋季)

1 期 日 令和7年9月27日(土)～28日(日)

開場(アップ開始)9月27日(土) 8時00分 9月28日(日) 8時00分

監督会 9月27日(土) 8時05分 9月28日(日) 8時05分

競技開始 9月27日(土) 8時30分 9月28日(日) 8時30分

2 会 場 富島中学校体育館(A、Bコート)

3 大会役員 部会長 清山 茂樹(富島中学校)

専門部長 佐藤 聡馬(門川中学校)

専門委員 各中学校バスケットボール部顧問

救護 落合 朱里(富島中学校)

4 参加資格 日向市内及び門川町内の中学校で、中学校長が参加を認める生徒であること。

5 出場制限 チーム編成は、監督1名、コーチ1名、A.コーチ1名、引率責任者1名、マネージャー1名、選手15名の計20名以内とする。ただし、マネージャーは生徒とする。

6 競技方法 9月27日(土) 男子 6校による三角リーグ

女子 4校による総当たり戦

9月28日(日) 男子 4校(リーグ戦1位2位)による決勝トーナメント

女子 4校による総当たり戦

7 競技規則 2025年 日本バスケットボール協会競技規則並びに本大会要項による。

8分の4クォーター制で行う。(インターバル2分 ハーフタイム7分 試合間8分)

総当たり戦の順位決定については、次の通りとする。

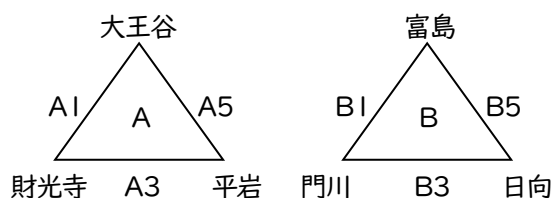
【① 勝率 ② 直接対決の結果 ③ 得失点差】

※予選での延長は行わない。

8 組み合わせ

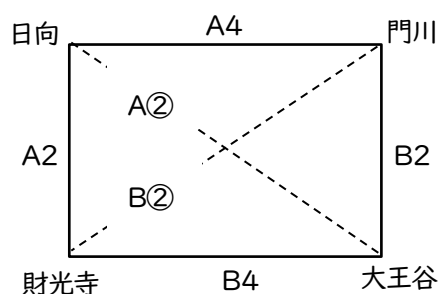
【男子の部】

<予選リーグ(27日)>

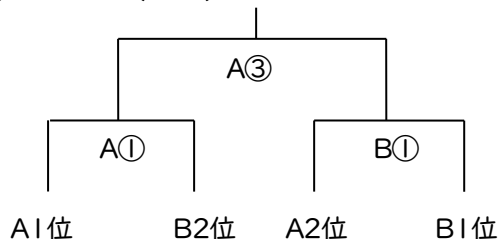


【女子の部】

<総当たり戦(27、28日)>



<決勝トーナメント(28日)>



※ 数字は27日の試合 囲い数字は28日の試合

9 表彰 第1位の学校に「優勝旗と賞状」、第2位、第3位の学校に「賞状」を授与する。

【賞状の表記については、「第1位」、「第2位」、「第3位」と表記する。】

10 開会式・閉会式

開会式: 今大会は実施しない。

閉会式: 通常通りの形で実施する。

- (1) 開式のことは
- (2) 成績発表
- (3) 表彰
- (4) 部会長講評 (清山 茂樹)
- (5) 閉会のことは

11 参加申込 9月9日(火) 第2回競技専門部会にて、メンバー表を2部提出すること。

12 その他

- (1) 各チームでゴミはすべて持ち帰して下さい。業者が取りに来る場合も、必ず見届けまで対応して下さい。
雨天時は、昼食会場として校舎を一部解放します。(※場所については、当日連絡します。)
- (2) 会場では上履き、下履きの区別をつけ、各チームで履物の管理をお願いします。観戦される方は靴を入れる袋の持参してください。
- (3) 駐車が狭いため、車は可能な限り乗り合わせをお願いします。駐車する場合、他車が出入りができるように配慮し、緊急車両の通用口の確保にご協力いただき、補助員の指示に従って下さい。
- (4) 観戦は2階ギャラリーからお願いします。試合が行われている該当チームの応援者を優先して下さい。また、小さいお子様の安全管理、競技中のフラッシュ撮影についてはご配慮ください。
- (5) 試合中に撮影した画像、動画のインターネット上へのアップロードはご遠慮ください。
- (6) その他、何かお困りのこと等がございましたら、大会本部(体育館ステージ)までご連絡ください。
※ マンツーマン推進に関する取り扱いについては、宮崎県中学校総合体育大会においても適応されるため、本大会においてはマンツーマンコミッショナーを役員の対応可能な限り配置し、JBAの規定に反するマンツーマンに対しては罰則を実際に適応することとする。

《マンツーマンコミッショナーの試合中の任務等》

- (1) プレイ中は基準規則に基づき、適切なマンツーマンディフェンスが行われているかを見極める。
- (2) 違反行為が確認されたら、該当ベンチに黄色旗を示しコーチや選手の対応を促す。
- (3) (2)に対して改善があった場合には、黄色旗を降ろす。
- (4) タイムアウト、インターバル、ハーフタイムで必要があればコーチに改善を促すよう求める。
- (5) 赤旗があがった場合には、ゲームクロックが止まった際、またはボールコントロールが替わったときには、コミッショナーがブザーを鳴らして知らせる。この際、コミッショナーは審判に赤旗を示す。
- (6) 主審がTO席前に両チームのコーチを集めた際、コミッショナーが違反内容を簡潔に説明する。コーチから当該選手に対しての説明が必要な時には当該選手をTO席の前に招き、コーチが説明する時間を設ける。その後主審は該当チームのコーチに警告を与える。
- (7) 警告とタイムアウトが重なった場合には、審判が警告を与えてからのタイムアウトの計時を始める。テクニカルファウルが宣せられた場合は、タイムアウト終了後にフリースローを行ってからTO席から遠い方のセンターラインのアウトオブバウンズからのスローインで再開する。
- (8) 各時限の終了間際に違反行為があり、赤旗が上がったまま時限が終了した場合は、その警告や罰則は有効。勝敗に関係のない場合、テクニカルファウルは適用しない。
- (9) 2回目の警告があった場合審判員からコーチへテクニカルファウルを宣する。相手チームのコーチが指名した選手に1個のフリースローとTO席から遠い方のセンターラインからのスローインが与えられる。
- (10) 同一チーム2回目の赤旗が上がった場合、コーチは2個目のテクニカルファウルになり退席処分となる。
- (11) 意図的なゾーンや僅差の場面でのスローインに対するオフボールプレイヤーのダブルチーム、4Qや延長時限の終了間際のゾーンプレスに関しては、即座に赤旗を上げて警告することが可能である。
- (12) 相手チームのディフェンスに対してのベンチからのアピールには対応しない。